

公益財団法人第一三共生命科学研究振興財団(理事長 眞鍋 淳)は、先般開催しました第36回理事会において、2019年度研究助成並びに2020年度海外留学奨学研究助成の採択者を決定しましたのでお知らせいたします。

2019年度研究助成は196名の応募者があり、このなかから採択者30名を決定し、昨年度採択者の継続分と合わせ、来年度は55名(総額5,500万円)に助成する予定です。

2020年度海外留学奨学研究助成は52名の応募者があり、このなかから採択者5名を決定し、昨年度採択者の継続分と合わせ、来年度は10名(総額3,000万円)に助成する予定です。

公益財団法人第一三共生命科学研究振興財団  
2019年度研究助成金、2020年度海外留学奨学研究助成金採択者

【研究助成】30名(100万円/年、2年交付)

(50音順 敬称略)

| 氏名     | 所属機関名                            | 研究課題名                                   |
|--------|----------------------------------|---|
| 伊藤 貴浩  | 京都大学ウイルス・再生医科学研究所                | 代謝リプログラミングによるがん進展制御機構の解明とそれに基づく創薬       |
| 井上 毅   | 大阪大学免疫学フロンティア研究センター<br>分化制御研究室   | 稀少記憶B前駆細胞の同定及びその機能解析                    |
| 海老原 敬  | 秋田大学 大学院医学系研究科微生物学講座             | アレルギー炎症におけるII型自然リンパ球の可塑性                |
| 岡本 徹   | 大阪大学大学院 微生物病研究所<br>高等共創研究院       | HCVコア蛋白質の成熟化機構の解明                       |
| 萩原 秀明  | 国立がん研究センター研究所<br>ゲノム生物学研究分野      | SMARCB1欠損がんにおける合成致死治療法の開発               |
| 小内 伸幸  | 金沢医科大学医学部免疫学講座                   | 血液細胞分化経路における細胞系列分岐点の決定と急性骨髄性白血病の治療方法の開発 |
| 甲斐 歳恵  | 大阪大学大学院生命機能研究科<br>生殖生物学研究室       | 一塩基レベル分解能での小分子RNA塩基修飾の解析                |
| 金 倫基   | 慶應義塾大学薬学部創薬研究センター                | 腸内細菌による食物アレルギー抑制機構の解明                   |
| 金城 雄樹  | 東京慈恵会医科大学細菌学講座                   | 抗体産生及び細菌感染防御効果の持続をもたらす免疫学的機構の解明         |
| 笹栗 弘貴  | 理化学研究所脳神経科学研究センター<br>神経老化制御研究チーム | 生体内塩基編集技術を利用した新規遺伝子治療によるアルツハイマー病治療      |
| 佐藤 佳   | 東京大学医科学研究所                       | シングルセル解析技術を駆使した生体内HIV感染細胞の不均質性の解明       |
| 佐藤 美由紀 | 群馬大学生体調節研究所                      | PINK1-Parkin 非依存的ミトコンドリア分解の分子機構         |
| 塩田 倫史  | 熊本大学発生医学研究所                      | グアニン四重鎖によるDNA可塑性とRNAエンGRAMの解明           |
| 高橋 秀尚  | 横浜市立大学大学院医学研究科分子生物学分野            | 新規転写伸長制御因子Med26の機能解明と抗腫瘍シード開発基盤の構築      |
| 高村 史記  | 近畿大学医学部免疫学教室                     | 肺における滞在型メモリーCD8T細胞インフレーション機構の解明         |
| 滝澤 忍   | 大阪大学産業科学研究所<br>機能物質化学研究分野        | ベイズ最適化を活用する創薬シードの効率的探索研究                |

| 氏名     | 所属機関名                                      | 研究課題名   |
|--------|--|---|
| 田中 都   | 名古屋大学環境医学研究所分子代謝医学分野                       | 死細胞センサーMincleによる炎症遷延化の分子機構解明                      |
| 網田 丈二  | 岩手大学農学部共同獣医学科                              | 聴覚フィードバック療法からせまる吃音症の脳内機構の解明                       |
| 富樫 庸介  | 国立がん研究センター研究所腫瘍免疫研究分野/<br>先端医療開発センター免疫TR分野 | 腫瘍浸潤PD-1陽性制御性T細胞は「疲弊状態」にある                        |
| 花岡 健二郎 | 東京大学大学院薬学系研究科                              | 近赤外蛍光プローブの開発を基盤としたTheranosticsプローブの創製             |
| 早河 翼   | 東京大学大学院医学系研究科医学部附属病院                       | 粘膜増殖帯由来消化管癌の発生機序解析と標的治療～スキルス胃癌を中心に                |
| 平林 祐介  | 東京大学大学院工学系研究科化学生命工学専攻                      | 小胞体-ミトコンドリア相互作用によるニューロンネットワーク制御                   |
| 福原 茂朋  | 日本医科大学先端医学研究所                              | 血管新生におけるペリサイトの新たな機能とその破綻がもたらす疾患の病態解明              |
| 船戸 弘正  | 東邦大学大学院医学研究科解剖学講座                          | 過眠モデルマウスを用いた睡眠の脳老化における影響の検討                       |
| 松本 佳則  | 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科<br>腎・免疫・内分泌代謝内科学          | Toll様受容体に着目した難治性炎症疾患の病態解明と新規治療法の開発                |
| 三枝 理博  | 金沢大学医薬保健研究域医学系統合神経生理学                      | In vivo多層的活動計測による中枢体内時計の神経メカニズムの解明                |
| 柳谷 耕太  | 九州大学生体防御医学研究所<br>細胞機能制御学部門炎症制御学分野          | 翻訳の一時停止の生理的役割を研究するため革新的手法の開発                      |
| 山口 暢俊  | 奈良先端科学技術大学院大学<br>先端科学技術研究科 バイオサイエンス領域      | 植物細胞をモデルとした老化の基本原理の解明                             |
| 山下 直也  | 順天堂大学医学部薬理学講座                              | 神経細胞における逆行性シグナル異常を介したアルツハイマー病発症の分子機構の解明とその治療法への応用 |
| 吉田 善紀  | 京都大学iPS細胞研究所増殖分化機構研究部門                     | iPS細胞を用いた骨髄異形成症候群の病態モデル構築に基づく病態マーカーの探索と新規治療法の開発   |

【海外留学奨学研究助成】5名(300万円/年、2年交付)

(50音順 敬称略)

| 氏名    | 所属機関/留学先/国名  | 研究課題名                               |
|-------|--|-------------------------------------|
| 伊藤 謙治 | 東京大学医科学研究所<br>先進病態モデル研究分野<br>Institute for Regenerative Medicine,<br>University of Pennsylvania<br>USA | 有糸分裂終了後の娘細胞に細胞の運命が維持・継承されるメカニズムの解明  |
| 今井 崇史 | 九州大学病院小児科<br>University of Cologne<br>Germany  | ZnF71に変異を持つA20ハプロ不全症における血管炎の発症機序の解明 |
| 清水 秀幸 | 九州大学生体防御医学研究所<br>分子医科学分野<br>Harvard University<br>USA  | 人工知能による冬眠タンパクデザインとその治療応用            |
| 西田 純  | 東京大学大学院医学系研究科<br>分子病理学分野<br>Dana-Farber Cancer Institute<br>USA  | 単一細胞解析技術の統合による乳がん脳転移の時空間的不均一性の解明    |
| 藤田 幸  | 大阪大学大学院医学系研究科<br>分子神経科学<br>University of Pennsylvania<br>USA   | 神経回路の形成と損傷からの修復メカニズムの解明             |